



鳥取市教育センターだより

第3号 令和2年 9月29日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

今だからこそ、持続可能な学校づくり！

所長 東田 重高

夏休み後に授業が再開してあっという間に約1ヶ月が経過しました。新型コロナウイルス感染症対策で、子どもたちが主役となって活躍する運動会・修学旅行等の中止・延期・実施内容の変更等の決断を行うにあたって、大変ご苦労されながら前期末を迎えていることと拝察いたします。



新型コロナウイルス感染症対策は、現在の状況がしばらく続くと予想されます。後期、そして来年度の計画等を検討する際、これまで工夫・対応してきた中で見えてきた成果や課題をもとに、例年とは違った見直しの視点が必要となってきます。最近、コロナ禍における今後の対応について様々な文献等を目にすることが増えており、ここで少し紹介してみたいと思います。

文部科学省の新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアル「学校の新しい生活様式」の中に、「持続的に児童生徒等の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していく必要があります」と示されています。このように、新型コロナウイルスなどの新たな感染症の予防や毎年頻発する自然災害から命を守る防災教育と子どもの学びの保障を両立することを推進していく視点が必要となってきます。

また、「SDGsの視点」という言葉がよく使われており、下記の通り要旨をまとめてみました。

- 「SDGs」(エスディーゼズ)とは、「Sustainable Development Goals」の略
- 「SDGs」(持続可能な開発目標)とは、「2030年までに達成すべき17の目標」
 - ※2016年～2030年までの15年間で世界が達成すべきゴールを表したもの
 - ※2015年9月、国連持続可能な開発サミットで、「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ(行動計画)」=「SDGs」を採択
- 17の目標が設定しており、その中の1つが「質の高い教育をみんなに」→
- 「SDGs」の理念:「誰一人取り残さない」



現在、本市教育委員会において「鳥取市教育振興基本計画」を策定中であり、教育活動全体を「SDGs」の視点等で整理し、具体的な教育施策や教育環境の推進にむけて協議を進めているところです。

子どもたちのために形を変えてでも何かをしていくことが、これからも求められます。一人一人のニーズに対応した教育に向けて、コロナ禍の今だからこそ、持続可能な学校づくり、それを支える地域づくりが重要な鍵となります。子どもたちも教職員も笑顔で過ごせるよう、共にがんばりましょう。

今年度の研修も「すべての子どもがしあわせになるために ともに学び続ける教師」をめざす教師像として教職員研修の企画・運営をしています。研修での学びを自校の取組に活かすよう、講義資料や研修のまとめを活用して校内での情報共有に努めてほしいと思います。



【初任者研修③】
情報共有の様子

【特別支援教育主任研修・
幼保小中連携研修】
市教育センターでの受講の様子



＜受講者の声（振り返りシートから）＞

- 講師の先生のお話を聞きながら、自校の気がかりな子どもの背景について考えるきっかけとなった。今後、研修したことを自校の取組みに活かしていきたい。
- 講義で取り上げられていた使える教材教具のホームページを紹介していただき、ありがたかった。
- 具体的な事例を多く知ること、自校で活用したいと思った。
- 少人数で集合研修を行うことで小中の連携を意識した年間指導計画作成に活かす機会となった。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から研修開催が難しい中、Web会議による遠隔講義により、感染症対策をとりながら研修を受けることができてありがたかった。
- Web会議による遠隔講義で研修を受けることで、会場への移動時間がなく、その時間を学級での指導時間に充てることができた。3密を防ぐという観点からも有効な研修体制だと思った。

「遠隔講義をアップデート！」

今年度の鳥取市教職員研修は、新型コロナウイルス感染症対策のため、4・5月の研修は中止としました。6月から研修を開始し、集合研修ではなく、「Web会議による遠隔講義」という形式で、研修講師と各校とをつないで実施してきました。各校で個人での受講が基本ですが、受講対象者・研修内容等を考慮し、次の2つの研修については、「会場校方式」と銘打って実施しました。

1つ目は、「特別支援教育主任研修と幼保小中連携研修（コラボ研修）」です。幼保小中の切れ目のない連携のため、研修中や研修後のつながりをもっていただきたいという意図から、近隣の小学校に、幼保小中の先生方に集まっていただき、研修を実施しました。

2つ目は、「初任者研修（校外研修）③・新規採用養護教諭研修②」です。初任者同士のつながりづくりを意識し、初任者研修の拠点校グループをメインとしたメンバーを1校に集めて研修を実施しました。仲間づくりショートエクササイズ、学級経営に関わる事例を基にしたグループ協議等、受講者同士が語り合い、思いを共有し合い、関わりやつながりが持てるような時間となりました。

今後の研修も、意見交換や情報共有ができるような時間・場面をできるだけ設定し、Web会議による遠隔講義をアップデートしていきたいと考えています。

＜受講者の声（振り返りシートから）＞

- グループワークができ、他のグループの発表も聞くことができたので良かった。他の学校の初任者と話すことができ視野を広げることができた。話すことで気持ちの面で少し楽になれた。
- 幼保小中連携として、小中学校の先生方と話げできたことが、大変嬉しく、有難かった。